

Q 「LGBTQ」とは？

A 性的少数者を表す総称のひとつです。

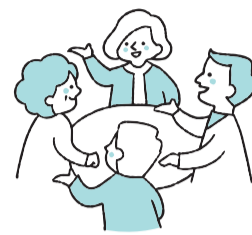
L	Lesbian	女性の同性愛者
G	Gay	男性の同性愛者
B	Bisexual	両性愛者
T	Transgender	身体の性と自認する性で違和がある人
Q	Questioning	自身の性自認や性的指向が定まらない(決めない)人
Q	Queer	一言では定義できない性の多様性を示します。

用語を理解しよう

- ・カミングアウト 自分が性的少数者であることを打ち明けること。
- ・アウトティング 本人の許可なく、性的指向や性自認を第三者に言いふらすこと。
- ・Ally (アライ) LGBTQを理解、支援する人。

LGBTについて考える ～言葉遣いについて考えてみよう～

性別を限定してしまうような言葉遣いは、相手に違和感や嫌悪感を与えてしまうこともあります。
決めつけで話さずに、相手に配慮した言葉遣いを心がけることが大切です。



シチュエーション別の 言い換え例

- ★彼氏・彼女 → 恋人・パートナー
- ★ご主人・奥さま → パートナーの方・お連れ合い
- ★お父さん・お母さん → 保護者の方・ご家族の方

(電通ダイバーシティ・ラボ2022年版「アライアクションガイド」より)



リプロダクティブ・ヘルスライツについて理解を深めよう！

「リプロダクティブ・ヘルスライツ」とは、1994年にエジプト・カイロで開催された、国際人口開発会議において提唱された概念で、「性と生殖に関する健康と権利」と訳されます。

リプロダクティブ・ヘルス

性や子どもを産むことに関するすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きられること。

リプロダクティブ・ライツ

自分の身体に関することを自分自身で選択し、決められる権利のこと。



女性は妊娠や出産など、男性とは違った身体的な特徴があります。女性が生涯にわたって身体的、精神的、社会的に良好な状態であるためにも、性のこと、妊娠、出産に関係すること、性感染症等、すべての人が正しく性の知識を習得すること大切です。

自分らしく生きるためにも、「自分のからだは自分で守る。自分で決断する。」を第一に、大切な家族やパートナー等にその大切さを伝えていきましょう。



社会の多様化が進む中、誰もが安心して自分らしく暮らせる八潮市であるために、令和5年3月に「八潮市ダイバーシティ社会推進方針」を策定しました。

Q ダイバーシティ社会とは？

A **ダイバーシティ社会**とは、年齢や性別、障がいの有無、国籍、文化的背景、性的指向・性自認などといったさまざまな属性に配慮しながら、違いを受け入れ、分かり合うことで、互いに活かし合うことができる「多様性」のある社会を指します。このようなダイバーシティ社会の考え方は、「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念にも沿ったものです。



▲SDGsは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された世界共通の目標です。



八潮市の目指すダイバーシティ社会とは

『八潮市で暮らす全ての人々が主役となり、お互いを思いやり、理解し、助けあいながら、安心して暮らすことができる社会』

八潮市においても、ひとり暮らしの高齢者や障がいを持つ方、外国人など、何らかの支援を必要とする人々も多く住んでおり、地域で安全、安心に暮らすための環境づくりを進めるためにも、多様性を受け入れ活かすことを理念とする「ダイバーシティ社会」を推進することが重要です。

ダイバーシティ社会の効果！

- 安心して能力が発揮できる！
- イノベーション(変革)が起こる！
- 価値観や世界観が広がる！
- ダイバーシティ社会の推進は地域の未来を左右する重要なテーマ！
- 排除が生まれる損失が減少する！
- 地域のつながりが向上するため、災害時なども安心！
- 新しい住民の流入と企業の新規参加が期待できる！

